THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

THE Y'S MEN'S CLUB OF
OSAKA NAKANOSHIMA
Y'S WOMEN

大阪なかのしまワイズウィメンズクラブ

"To acknowledge the duty that accompanies every right"
「強い義務感をもとう、義務はすべての権利に伴う」

C/O OSAKA YMCA, 1-5-6, Tosabori, Nishi-ku, Osaka 550-0012 Japan

MOTTOES（2018-2019）
国際会長主題 ："Yes, we can change"「私たちは変えられる」
アジア会長主題："Action！"「アクション！」
西日本区理事主題："Let's Protect and Cultivate What Should Be Passed on to the Future"
「未来に残すべきものを守り育てる」
中西部部長主題：「次代につなぐ夢と希望」
クラブ会長主題："With You"「あなたと一緒に」

Monthly Bulletin
第 265 号
2019 年 2 月

聖書のことば

断食するときには、あなたがたは偽善者のように
沈んだ顔つきをしてはならない。
マタイによる福音書６章 16 節
選者　桑原　頼子

２月第１例会プログラム

日時：2019 年２月 13 日（水）18：30～20：30
場所：大阪 YMCA 103 号室

司会　大橋　昌美

1. 開会点鐘　國友朝子会長
2. ワイズソング
3. 聖句朗読　桑原　頼子
4. ゲスト・ビジター紹介　國友朝子会長
5. 連絡・報告・ニュース
6. 卓話　*「マンダレー滞在記」*
   中村　隆幸さん（大阪センテニアルクラブ）
7. お誕生祝い.
8. ニコニコ献金　ドライバー
9. YMCA の歌
10. 閉会点鐘　國友朝子会長

例会当番（D）　受付当番（C）

１　月　統　計					
第１例会出席者数		例会出席率		ＢＦ統計	
メンバー	13 名	出席者	13 名	日本	80ｇ　累計　80ｇ
ビジター	名	メイキャップ	3 名	外国	83ｇ　累計　83ｇ
ゲスト	名	合　計	16 名	現金	円　累計　円
コメット	1 名	在籍者	19 名	提供者：今井、桑原、藤好	
合　計	14 名	出席率	84.2%		

１月例会報告

格調高い中西部合同新年会

桑原　頼子

１月 19 日（土）は中西部合同新年会であり"なかのしま"の第１例会でした。来賓、西日本区役員、近隣他部クラブからの参加者を含め約 80 名が大阪 YMCA 会館２階ホールに集いました。

谷中西部長開会点鐘の後、会に先立って昨年亡くなられたお二人「大阪高槻クラブ：金田恒メン、大阪なかのしまクラブ：渡辺宏子メン」を偲んで黙とうを捧げました。

第１部の式典は粛々と進み、第２部は「ピアノとフルートによる癒しの音楽」。ソプラノ歌手を加えて美女３名の演奏です。先ずは、お正月の定番「春の海」。琴と尺八に代わり、ピ

アノとフルートの演奏でモダンな曲のように聞こえました。

フルート奏者高橋香名さんの解説で、フルートの起源は４万年前と教えられると、皆はへエ～と驚き、しかも穴熊の脛の骨で作られていたと聞くと、またまたへエ～。今のコンサートフルートは金は勿論のこと、プラチナのもあるとのことで、へエ～凄い！。ビックリびっくりの中、オリジナルの曲で癒されました。ファミリーコンサートでお馴染みのセンテニアルクラブメンバー中井祥子さんのカルメンなどを聴き、最後の曲は樋口友佳子さんの力強いピアノとフルートでリベ

ルタンゴ、30 分余りの演奏を楽しみました。
　第３部の懇親会は､綺麗なお弁当と飲物をいただきながら、おしゃべりに花が咲きました。新入会員紹介での出席者は、若い女性の大阪センテニアルクラブ花本茜さん。西クラブは３名もの新入会者があり、老齢化した中西部には大変嬉しいお知らせでした。
　そしてもう一つお誕生祝い。なかのしま：今井さん、センテニアル：中井さん、中村茂高さんが揃って今日１月 19 日がお誕生日、EMC 主査和田さんのピアノ伴奏で豪華なお祝いができ、中村さんは定年退職祝いも兼ねました。
　最後に谷部長が、西クラブはやんちゃだけど、センテニアルは格調が高く､いい新年会だったと言われ､笑って楽しく、閉会点鐘で幕を閉じました。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

阪和部新年合同例会に参加して

今井　利子

　2019 年１月 14 日（月・祝）12 時から和歌山クラブのホストで開かれた合同例会に出席しました。会場は JR 和歌山駅前のホテルグランヴィア和歌山でした。
　開会点鐘は横田部長､司会は和歌山クラブの女性担当主事、新年祈祷は和歌山福音教会中林かなえ牧師、そして和歌山クラブ会長の東正美メンなど女性ばかりで，新年から和やかな幕開けになりました。
　中林牧師からは｢災害などいろんな事が起り､世の中も色々な変化が起こっているが、YMCA の働きは大きい。」と。横田部長は「相手の気持ちの分かる人になり、働き、学び、遊びなどで、人生 100 年を遠藤理事の主題に沿って」と。遠藤理事は、超多忙な中、先日カンボジアのプノンペンに初めてのワイズメンズクラブの誕生しそのチャーターナイトに出席されたとのこと、また西日本区にも新クラブの誕生が近いと嬉しい予告がされました。
　第２部では、グランヴィアホテルの美味しい食事を頂きながら、それぞれ新年の挨拶しつつ交流の楽しい時間が続きました。そんな中、今日のイベントは「歌で和歌山を元気に」を合言葉に活動を続けるシンガーの TONPEI です。「ラストダンス」から「上を向いて歩こう」のアンコールまで、みんなのよく知る歌を楽しみました。アピールタイムの後は、お楽しみ大抽選会で三木求メンの軽快な進行で楽しく賑やかに開催され、会場のあちこちから歓声、拍手が上がり、会も盛り上がりました。
　YMCA の歌、次期阪和部長、飯沼真メンの閉会点鐘で、なごやかな 30 回阪和部新年合同例会は閉会しました。

渡辺宏子さんを偲んで

杉浦　眞喜子

　昨年末 29 日、渡辺宏子さんが天に召されました。一昨年 12 月 20 日、宏子さんからメールを頂きました。検査入院していらした住友病院から退院なさったこと､ALS と診断されたこと、延命処置は受けないつもりであること、そして２か月ぐらいで呼吸困難になることもあるとお医者様から言われた、というものでした。大きなショックでしたし、何と言ってお返事メールを出したらいいか？悩みました。しかし、彼女からのメールには、強い彼女の意思と覚悟が感じられました。神様から与えられた「生」をしっかり生きぬき、与えられる「肉体の死」もまたしっかり受け入れようとする覚悟です。それを感じた私は、私もまた彼女の「意志、覚悟」をしっかり受け止めようと覚悟を決めました。
　それから約１年の間、時々彼女を訪ねました。出来上がったジャムを持って、配布された冊子を持って、時に会費をもらいに。その度に彼女は門のところまで出てきて下さって、ちょっとおしゃべりします。彼女はいつも「なかのしまのみんなによろしくね」と言っていました。
　夏が過ぎる頃までは、少し話し方がゆっくりになっていく以外、それほど病状が進んでいるようには見えませんでした。でも 10 月の初め頃だったでしょうか？門のところまで出てきた彼女は、急に私に抱きついてきました。しばらく黙って抱き合い、私はただ彼女の背中をさすっていました｡「祈っているね」と小さい声で言い、彼女はただうなずいて別れました。以前より随分痩せているようでした。彼女と顔を合わせるのは、その時が最後でした。それ以後も電話で何回か話しましたが、だんだん話しづらそうで、聞き取りにくくなってきました。12 月の初めりんごジャムを届けた後も、電話で話しましたが、なかなか聞き取れなくて、途中でご主人が変わって下さいました。
　12月30日のご葬儀に､私は参列出来ませんでしたが、随分たくさんの方々が来ていらしたと伺いました。それだけたくさんの人が彼女と繋がっていたのです。民生委員など地域での働き、点字ボランティアで目の不自由な方たちのための働き、教会では婦人会などでたくさんの働きをなさっていたと伺いました｡そしてワイズやYMCAでも••。宏子さんはもう十分に｢生ききった｣､神様が｢もういいよ！｣と言って天に召された、最後まで、あの強い意志と覚悟を持って､私はそんな風に感じています。

　そして、彼女が最後まで「なかのしま」のメンバーでいて下さったこと、感謝したいと思います。会費を払い、ブリテンを読み、なかのしまのみんなのことを思いながら、私たちの大事な仲間でいて下さった宏子さん、あなたとの思い出、私たちの胸の中にいつまでもあります。

旧約聖書の女性たち

江見　淑子

2. サラ（創世記 12-21 章）

ユダヤ民族の父としてアブラハムは族長として尊敬されており、その妻の名は「サラ（言語の意味は女王）」ですが後にサライと呼ばれています。美貌の妻でした。部族の母として、子孫を作るのは大きな仕事です。ところが子に恵まれず、夫婦の悩みでした。

ある時、神はアブラハムに告げます。あなたが見上げる夜空の星が数えられないように、多くの子孫に恵まれると。さらに異教に毒された地を離れて、示す土地に旅立てと命じました。そして行き先を知らないで移住の旅に出ますが、子どもが生まれる兆しがありません。サラは神の約束が果たされるための方策を思いつきます。サラにはエジプト人の女奴隷ハガルが仕えていましたが、アブラハムにハガルを側女として与え、子を産ませようとしました。そしてその目論見は1年後に男子イシュマエルの誕生という結果を見ました。ハガルは子を身ごもると、主人サラを軽んずるようになり、サラは夫に不満を言いますが、アブラハムは「あなたの女奴隷はあなたのものだ、好きなようにするがいい」サラはハガルに辛く当たったので、ハガルは乳飲み子と共にサラから逃げます。

やがて3人の旅人が神の言葉を伝えにアブラハムのところにきました。アブラハムは旅人をもてなし、驚くべきことを聞きます。「来年の今頃またここに来るが、その頃、サラには男の子が生まれている」というのです。その話を盗み聞いていたサラはひそかに笑います。年を取り、月のものがとうになくなっていたし、夫も老い、最早楽しみがあるはずもないのにと笑ったのでした。

神は「なぜ笑ったのか神に不可能はない」と言いました。サラは怖くなって、打消し「私は笑いませんでした」「いやあなたは確かに笑った。」と。

旅人の言った通り、本当に男の子を得たのです。サラのお話しはまだ続きますが、ここでは人間の、サラの合理的な判断の結末を想像し、神の言葉を笑う、笑わないのリアルな気持ち、を共有しましょう。

〇〇〇の頃の私

「50 年前の私」

國友　朝子

ワイズメンの皆さんは「慕情」というラブロマンスの名作映画を覚えていらっしゃるだろうか。その映画のクイズに応募して、お正月の香港旅行が当たった。当時、私は某総合商社の輸出為替課に勤務しており、直接の上司が数ヶ月前に香港に赴任されたばかりの時。その N 氏には事情をすぐにしらせると「待ってるよ！」

何しろ初めての外遊だ！わくわくドキドキを絵に描いたような日々。その頃、日本円は１ドルは 360 円の固定相場で、外貨持ち出しは上限 500 ドル。と言っても私のサラリーはドル換算すれば 35 ドル弱くらいだから、500 ドルなんて夢のような大金だった。

さて、ようやくパスポート、予防注射など用意万端整って、いざパンナムで香港へ。招待側の T 映画の社員さんは啓徳空港で、私とあと二人の招待者を N 氏にひき渡すと見るからにホッとした様子だった。その時以降、私たち３人娘はわが社のゲストのような扱いとなり、まるで自動ドアが開くごとくどんなところもスムースに出入りしたように記憶している。もちろんお金なんてぜんぜんいらない。いつも誰かがアテンドしてくれていた。

支店長の住まいでのお茶の時間、駐在員 B 氏のかっこいいイタリア車で「慕情」の舞台ビクトリアピークまでぶっ飛ばし、夜は大人の遊び場ダンスホールやナイトクラブへ繰り出して船来のお酒をいただく。

お土産を買うにあたっては支店のゲスト担当 K 女史の案内つき。この方は神戸女学院卒の素敵な台湾人だった。こうして３人娘はめくるめく４日間を過ごした。

私が今もって忘れられないのは、泊まっていたホテルで 12,3 歳の男の子達がボーイをしていたこと、観光地では車を降りたらわらわらと子どもの物売りが群がってきたこと、中国本土からの難民アパートとその周辺が汚れて雑然としていたこと。でも、大人も子どもも活気に満ちて賑やかだったなぁ。

この旅の思い出の品、モンブランの万年筆はまだ現役で、手紙や日記を書いている。

１月第２例会報告抄

日時：2019 年１月 16 日（木）18:30～20:30
場所：大阪 YMCA・土佐堀会館
出席者：12 名

会に先立ち、先月末亡くなった渡辺宏子さんを偲んで祈りの時を持った。

1. 次々期会長を桑原頼子さんに担っていただくことを、全会一致で決定。
2. 高槻クラブ会長より申出のあった和田早苗さんの転会希望を全会一致で承認。転会の時期は、未定。
3. ファミリーコンサート第2回実行委員会の報告を受けた。
4. ミャンマー、マンダレーのミッターチェービュー無料診療所への1,000ドルの寄付に対する感謝状などが披露された。

YMCA ニュース

★第 310 回早天祈祷会

日時…2019 年２月 15 日（金）7：30～8：30
証し…間　祐三さん（元公益財団法人大阪 YMCA 評議員）
場所…大阪ＹＭＣＡ会館　10 階チャペル

★「いじめのない世界をめざそう」
YMCA ピンクシャツデー2019

今年も全国ＹＭＣＡと共にピンクシャツデー（PINK SHIRT DAY）を実施いたします。

２月 27 日（水）当日に向けて、YMCA 各拠点にて、ピンク色のアイテムを身に着けたり飾ったりすることでいじめ反対をアピールしていきますので、ご協力をお願いいたします

世界的な「いじめ」反対運動に連なり、地域社会や他団体・企業・行政とも協働して、広く、推進してまいります。

※ピンクシャツデー…2019 年２月 27 日（水）　※取り組み期間 2019 年１月 21 日～３月２日

ニコニコ献金　１月　13,030 円

〈ニコニコメッセージ〉

―　こんなお正月過ごしました　―

☆ 両親が健在の時は田舎の島根県益田市に戻っていましたが、今は娘の東京に行ったり、京都の親戚の所に行ったりしています。今年はどこにも行かなかったので、来年は娘家族と東山荘に行きたいと思っています。（生雲）

☆ 毎年年末年始に里帰りの様な集いをしています。姉が亡くなり、千葉、香川、舞鶴、河内長野からの懐かしい語らいの日々でした。1月2日が命日の姉の引き寄せです。若い子（と云っても60歳台）は怒られた母たちのことなど懐かしがっていました。帰りに孫、曽孫に会いに茨木へ寄り帰長しました。（今井）

☆ 東京の家族が二人帰省。孫も大きくなるとこうなるのでしょう。お節を用意するぐらいですが小学校に上がった孫娘はお手伝いする気満々で楽しかった。寒いので外出は映画のみ、でも子どもの趣味が意味不明で、お婆さんはショックでした。今年覚えておきたいのは和歌遊びをしたことです。5.7.5.7.7と指折り数えてみんなでうなりました。（江見）

☆ お正月はやっぱり家事専念。孫たちと楽しく遊び、4日には陽気に誘われ息子と初詣「中山寺」へ。昔懐かし青春の或日。それにしてもエスカレーターが設置、カラフルな仏塔が増えているのにはびっくりだ。望むものなし、ただ世界平和を祈りつつ。（大岸）

☆ 子どものときからお正月はいつも地元の神社と八幡市の石清水八幡宮へ初詣に行きます。今年ももちろん行きました。石清水八幡宮へ行く理由の一つとして、年末年始の食べ過ぎと運動不足解消のために宮のある山頂まで歩いて登るのが目的なのもあります。でも、お参りの後に麓の茶屋で「走り餅」というお餅を買って帰るので、結局はプラスマイナスゼロになってしまうのですが(笑)。（大橋）

☆ 今年は娘夫婦が帰郷しないので２人と１匹で過ごしました。同じ町内に夫の雀友がおられ、やもめさんなので元日のディナーにご招待。彼はなかなかの趣味人で蝶の収集、野鳥の観察、石の収集、クラシック音楽好き、ピースボートでアフリカやガラパゴスへ行くという方。麻雀はいつも赤ワインを飲みながら、というお仲間です。それで元日も赤ワインで焼き肉とたっぷりサラダのパーティになりました。ワイワイ飲みかつ食らいも一段落、お客様が「食後のお茶を点てましょうか」とおっしゃる。ちょうど到来物の銘菓がありましたよ！茶碗も水差しも頂き物がありました！！懐紙もあるし。よかったー！揃っていて。さすが京都はお茶やなーと再認識したお正月です。（國友）

☆ ずっ～～と前から、お正月は家族揃ってお節やお酒を頂きながら「箱根駅伝」を見るのが恒例でした。今年は友達と一緒に。初めての経験。楽しかったけど何となく寂しかったわ。（桑原）

☆ 例年どおり、御殿場東山荘で年末年始を過ごしました。天候に恵まれて、富士山が綺麗でした。2日には、「東山荘ワイズメンズクラブ（非認証）」の新年例会で、東日本区の方たちとの交流もできました。（杉浦）

☆ 渡辺宏子さんのお葬儀に参列してからの脱力感の大晦日、気を引き締めてお正月の準備を始めました。元旦は手づくりのおせち料理（もどき）とお雑煮で美帆と2人の新年を迎えました。２日は掃除と洗濯して、午後からミシンをかけ（沙織で手帳カバー）て作りました。３日は実家のお墓まいり（緑地公園墓地）帰りに妹の家により新年のあいさつ。　４日東京から帰宅した息子の家族が遊びに来ました。久しぶりにゆっくりと話しができて、楽しい夜を過ごしました。（武井）

☆ お正月、風邪を引いてしまい寝ていました。お節があったのでハッピーな寝正月でした。（鳥居）

☆ 29年12月25日病院へ入院。自宅から車で50分、食事見守り1時間、往復約3時間。30年11月24日退院まで11か月。施設は歩いて15分往復1時間半。お母さん元気で長生きしてね。（藤井）

☆ 恒例の長男家族の帰省で、3泊4日は洗濯、まかないと大忙しの年末年始になりました。今春に孫達は中学生になるので、来年はクラブ活動や、塾で、揃って帰省はなくなるかもと、ちょっと感慨深く見送りました。（藤好）

☆ 今年もよろしく！（松下）

☆ 暮の28日に妹が見つけて来てくれた介護施設を見学に行き妹たちと話し合って母に入所してもらうことに決めました。お正月は長男、次男、と姪の家族（皆大学で一緒だった）母と私と１４人ですき焼きを囲みこれからの事を話し合いました。私は母の近くでおひとり様暮らしを楽しみたいと思います。教会やなかのしまがあるから。ちょっと変化の時になりそうです。皆様よろしくね！（保田）

☆ 日頃の不精のせいで、家事三昧と母の聞き役という「おつとめ」のお正月でした。それから友だちとの飲み会三昧。普通の家での生活、友だちとの弾んだ会話、そんな時間がむしろ贅沢に、ありがたく感じたお正月でした。（山佐）

☆ 小さい鏡餅を飾り、お一日（オツイタチ）は近くの神社にお参りし、古いお札と新しいお札と交換します。毎年のお正月の行事としています。（吉岡）

☆ お正月休みに2回コンサートへ行き、話題の「ボヘミアンラプソディ」も観ました。伝説のロックバンド【クイーン】のボーカル、フレディーの生きざまが世界を変えた感動の映画です。ラストは1985年に行われたチャリティーコンサート「ライブエイド」の場面で、圧巻でした。お勧めです。（吉田）

◇2 月お誕生日の方◇　*Happy Birthday*

小倉　玲子　３日

= お知らせ=

◎ 浅井洋子さん（藤好さん友人）から BF 使用済み切手を頂きました。　感謝！

◎ 東京西クラブメネット神谷雅子さんよりブリテン郵送用切手を頂きました。　感謝！

◎ 2018-2019 BF 使用済み切手下記のように西日本区へ
日本　1,900g　　外国　900g

お年玉切手シート当選番号は下記です。シートに交換して２月例会に持参しましょう。

78　42　02

編　集　後　記

新しい年も早や１ヶ月が過ぎようとしています。次年度に向けての歩みをそろそろ始める時期です，一つ一つの業を大事に進めていきたいですね。